

2019年8月19日(月)
 愛知県農業水産局農政部農業振興課
 野生イノシシ対策室
 経口ワクチン対策第二グループ
 担当 小出、後藤
 内線 5200、5203
 ダイヤルイン 052-954-6725

犬山市、小牧市、春日井市及び瀬戸市（北部）での豚コレラ 経口ワクチン散布及び野生イノシシの免疫獲得率について

愛知県では、野生イノシシによる豚コレラウイルスの拡散を防止するため、国主導の下、野生イノシシへの経口ワクチンの野外散布を実施しています。

この度、犬山市、小牧市、春日井市及び瀬戸市（北部）内において第2期第2回目の経口ワクチンの野外散布を以下のとおり行いますので、お知らせします。

また、経口ワクチン散布後に当該地域で検体を採取した野生イノシシ42頭のうち、74%（31頭）が免疫を獲得していました。

1 散布日

- 8月20日 瀬戸市（北部）
- 8月21日 小牧市、春日井市
- 8月22日 犬山市

【散布状況】

| | 第1期 | | 第2期 | |
|-----------|-------|-------|----------|--------------|
| | 第1回目 | 第2回目 | 第1回目 | 第2回目 (今回) |
| 犬山市 | 3月25日 | 4月22日 | 7月14日 | 8月22日 |
| 小牧市 | 3月24日 | 4月21日 | 7月13日 | 8月21日 |
| 春日井市 | 3月24日 | 4月21日 | 7月13日 | 8月21日 |
| 瀬戸市(北部) | | 5月7日 | 7月12日 | 8月20日 |
| 岡崎市 | | | 7月25,26日 | 今後実施予定 |
| 豊田市(下山地区) | | | 7月28日 | 今後実施予定 |

※ワクチン散布に関しては、野外イノシシの誘引への悪影響及び豚コレラウイルスが靴底等に付着して外部への持ち出しや拡散の恐れがあることから、作業時には必要最低限の人数で行う必要があるため、散布場所での取材を自粛いただきますようお願い申し上げます。

【散布エリア】



〈凡例〉

-  : 今回のワクチン散布対象エリア
-  : 県境
-  : 市町境

※背景地図は国土地理院の地理院地図を使用

2 検査した野生イノシシの免疫獲得率

| 検査頭数※ ¹ (回収期間:4/12~8/6) | 遺伝子検査 (PCR)※ ² | | 抗体検査 (ELISA) ※ ³ | |
|---------------------------------------|------------------------------|------|--------------------------------|-------------|
| | 42 頭 | + | 9 頭 | + |
| - | | | | 6 頭 |
| - | | 33 頭 | + | 31 頭 |
| | | | - | 2 頭 |

免疫獲得率は、遺伝子検査（PCR）が「-」かつ抗体検査（ELISA）が「+」であるイノシシの頭数（今回は31頭）を、検査頭数（今回は42頭）で除することで算出される。今回の検査では、検体を採取した野生イノシシ42頭のうち、74%が免疫を獲得していました

※1 犬山市、小牧市、春日井市及び瀬戸市（北部）を対象

※2 「+」であれば、豚コレラに感染しており、「-」であれば感染していない。

※3 「+」であれば、豚コレラウイルスに対する抗体を保有しており、「-」であれば保有していない。

【参考】

2010年6月に欧州委員会(EC)が作成したガイドラインによると、豚コレラの感染拡大を止めるためには、少なくともイノシシの40%が免疫を獲得する必要があるとされている。

出典：Guidelines on surveillance/monitoring, control and eradication of classical swine fever in wild boar
(SANCO/7032/2010(Rev4)【June 2010】)